

知りたいことだけサクッと学術情報セミナー@Zoom

人文社会系にも使える！  
EndNoteで文献管理

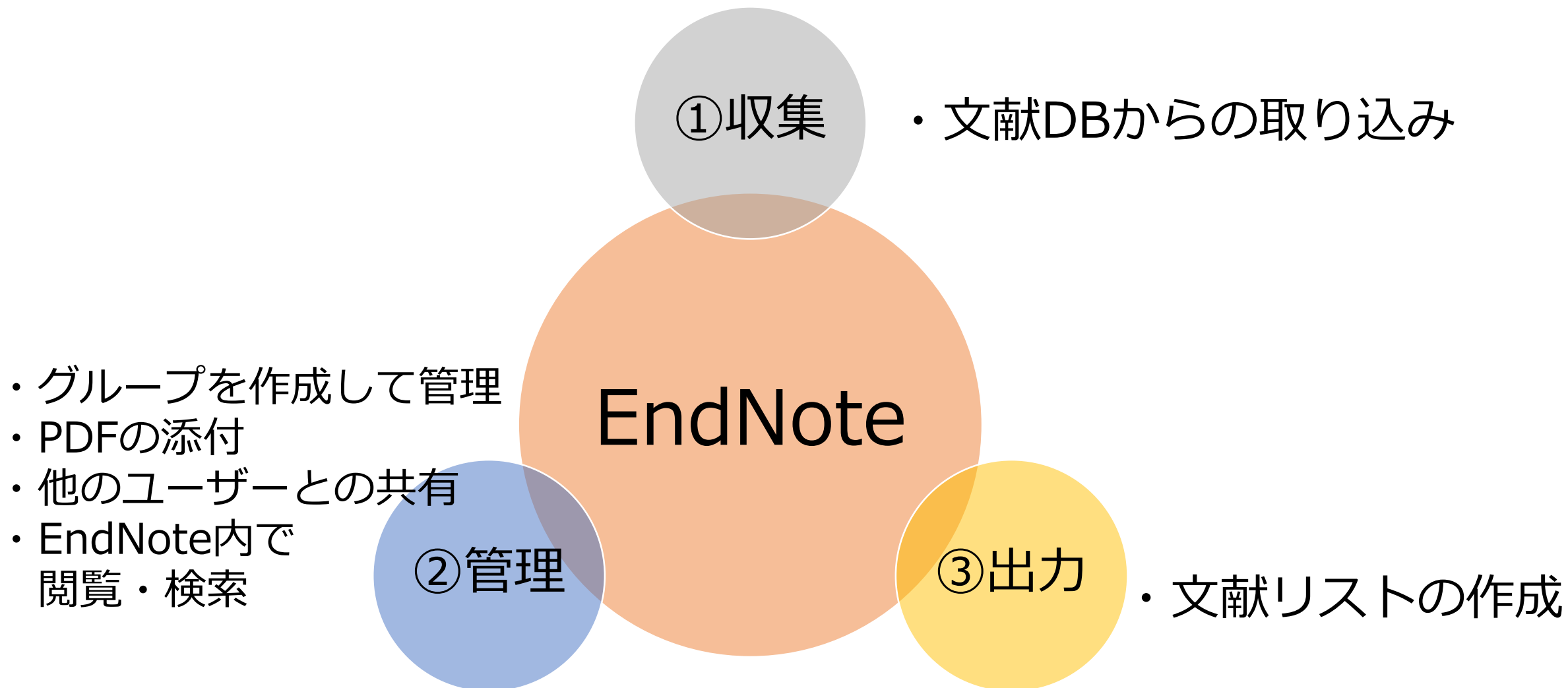
2021年度

附属図書館 学術情報サービス課

# 本日の内容

1. EndNoteとは
2. EndNoteの始め方
3. EndNoteの操作方法

# EndNoteとは



# 新潟大学で使える「EndNote」

|  | レファレンス容量 | 添付ファイル容量 | 引用文献リストのスタイル | Web of Scienceデータとリンク |
|--|----------|----------|--------------|-----------------------|
| EndNote Basic                          | 50,000件  | 2 GB     | 21種類         | ×                     |
| EndNote Basic<br>Web of Science機<br>関版 | 50,000件  | 2 GB     | 4,200種類以上    | ○                     |
| EndNote<br>デスクトップ版                     | 無制限      | 無制限      | 6,000種類以上    | ×                     |

- 新潟大学ではEndNote Basic Web of Science機関版が利用可能
- ウェブアカウントなので、大学PCでも自宅PCでも利用可能
- ただし、1年に1回IP認証下でログインが必要

# EndNoteの始め方

## 手順①アカウントを確認

Web of Scienceのアカウントを持っていますか？

YES

同じアカウントで  
EndNoteが使えます  
(新規に作成不要)

NO

新たにアカウントを  
作りましょう

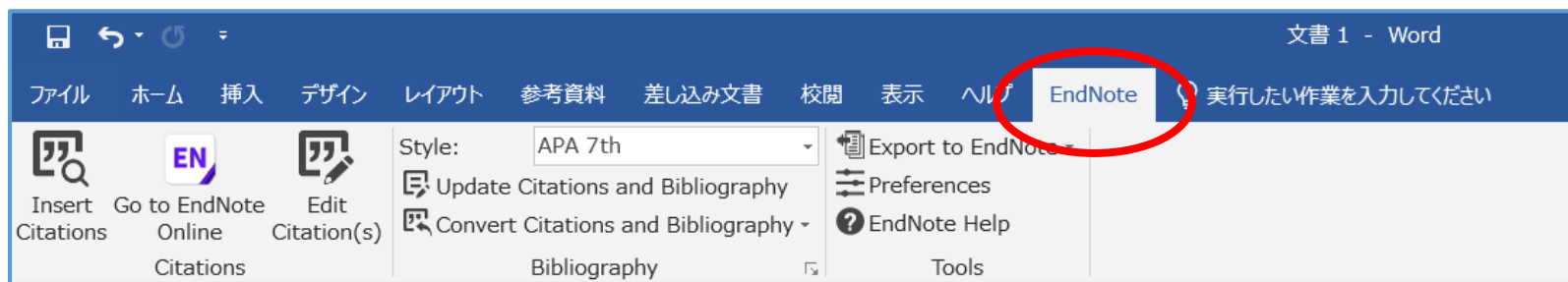
WoSトップページ> 右上「登録」  
※学内LAN環境下 (IP認証下) で作業

# EndNoteの始め方

## 手順②プラグインをインストール

- 引用文献リストの作成にはプラグイン「CWYW」が必要
- 複数のPCで使う場合は、PCごとにインストール
- 事務用端末（ゼロクラ）にはインストールできない

1. EndNoteにログイン
2. 画面上部の「ダウンロード」へ進む
3. Windows版かMac版を選択後ダウンロードし、インストールする



# 収集 = 書誌情報の取り込み

- 文献データベースからボタン操作でエクスポート
  - ・ CiNii Articles/Books/Dissertations
  - ・ J-STAGE
  - ・ 新潟大学OPAC など
- Capture Reference ToolでWebページの情報を取り込む
  - ・ 設定方法：[ダウンロード]>[取り込み:]  
[レファレンスを取り込みボタン]をお気に入りバーにドラッグ
  - ・ 取り込みたいWebページでこのブックマークをクリック
- 手入力  
[文献の収集]>[新しいレファレンス]

# (その1) CiNii Articleからの取り込み

検索結果: 161件中 1-20 を表示

1 2 3 4 5 6

すべて選択: 新しいウィンドウで開く 実行

**石井桃** RefWorksに書き出し の翻訳についての考察: 子どもの言語世界をどう表  
夏目 真 **EndNoteに書き出し**  
大妻女子 Mendeleyに書き出し women's University annual report. Humanities and social sci  
機関リ Refer/BibIXで表示 Finder 新潟大学OPAC所蔵情報  
RISで表示

**金色に** BibTeXで表示 欧米視察の旅より  
森 英男 TSVで表示  
問題の指摘  
こどもとしよかん (100), 22-23, 2020  
EBSCO Full Text Finder 新潟大学OPAC所蔵情報

**"おもしろい絵本"を作った人 石井桃子さんと瀬田貞二さん (特集 絵本選びのヒント**  
母の友 (796), 25-33, 2019-09  
EBSCO Full Text Finder 新潟大学OPAC所蔵情報

**帰国子女を中心とする児童・生徒の語彙力に関する基礎的調査**  
安部 朋世, 藤川 大祐, 高木 啓, 小山 義徳, 湊 康志, **石井 桃子**, 蜂巢 桂

1. CiNii検索結果にチェックを入れ、「新しいウィンドウで開く」をプルダウン
2. 「EndNoteに書き出し」→「実行」
3. 「ダウンロード」のウィンドウが表示されたら「ファイルを開く」をクリック  
(EndNote Basicへのログインが求められたら、ログインする。)




# (その2) 新大OPACからの取り込み



1. OPAC検索結果にチェックを入れ、「EndNote」をクリック
2. 「EndNote出力」のウィンドウが表示されたら「ファイルを開く」をクリック  
(EndNote Basicへのログインが求められたら、ログインする。)

# 管理 = グループの作成

- 収集した書誌情報はいったん[未整理]に保存されるので、グループを作成してわかりやすく管理する  
[未整理]>[グループに追加…]のプルダウンからグループを選択
- 本文を何度も参照しているものは、PDF添付が便利（2GBまで）  
 をクリック→ファイルの添付
- ほかのユーザーと文献情報を共有できる（PDFは×）  
[分類]>[マイグループの管理]> 共有にチェックし[共有の管理]を開く  
→共有したい相手のメールアドレス※を入力

※WoSアカウント登録時のメールアドレス

# 出力 = 文献リストの作成

- 投稿したいジャーナルのスタイルを選択  
上部メニューの[style:]から選択
- 引用文献を挿入  
上部メニュー[Insert Citations]→検索窓から文献を検索し「Insert」  
※日本語論文には「**Notes**」フィールドにキーワードを入力
- 著者名、ジャーナル名の省略形などを目視でチェック
- ほかの人に渡すときはコンバートが必要  
[Convert Citations and Bibliography]→[Convert to Plain Text]

# もっと詳しく知りたい方は

- 「Web of Science/InCites 活用メソッド・必須ガイド」  
(提供：クラリベイト・アナリティクス社)  
[https://clarivate.com/ja/learning/web-of-science\\_qrg/](https://clarivate.com/ja/learning/web-of-science_qrg/)
- Web of Science Training Japan  
(提供：クラリベイト・アナリティクス社)  
→過去のウェブセミナーをYouTubeで公開
- ユサコ株式会社（総代理店）ホームページ  
<https://www.usaco.co.jp/endnote/>  
2週間に1回程度、無料講習会を配信